

## 予算審査特別委員会総務分科会

- 1 開会日時 令和3年9月14日（火）午後1時55分
- 2 閉会日時 令和3年9月14日（火）午後2時47分
- 3 会議場所 議会協議会室
- 4 出席委員  
3番 安藤 利博君      6番 佐藤 武君      9番 保田 守君  
10番 大口 浩志君    14番 松田 勲君    17番 下山 哲司君
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者  
市長 友實 武則君      副市長 前田 正之君  
総合政策部長 山本 幸治君    総務部長 入矢五和夫君  
財務部長 作本 直美君      消防長 井元 官史君  
秘書広報課長 小引 千賀君      政策推進課長 山崎 和枝君  
総務課長 花谷 晋一君      暮らし安全課長 岡本 和典君  
財政課長 和田美紀子君      管財課長 戸川 邦彦君  
税務課長 光田 尚人君      消防総務課長 檜原 秀幸君  
通信指令室長 納所 浩典君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君      主 事 平尾 和也君
- 8 審査又は調査事件について  
1) 議第41号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の総務常任委員会所管部分
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後 1 時55分 開会

○分科会委員長（佐藤 武君） ただいまから予算審査特別委員会総務分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第41号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）のうち、総務常任委員会所管部分でございます。

執行部からの補足説明がありましたらお願いします。

なお、説明は、補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いいたします。よろしく申し上げます。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 資料につきましては、総合政策部の1ページ目を御覧ください。

議第41号令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）についてでございます。

まず、債務負担行為でございます。

予算書は、4ページ目を御覧ください。

第2表債務負担行為補正ということで、追加させていただいております。提案説明のとおりで、特に補足はございませんが、3件予定させていただいております。赤磐市広域路線バス運行業務委託料として赤磐・美作線、それから赤磐市民バス運行業務委託料として小野田線、豊田・熊山線、可真・桜が丘東線、松木・下市線、それから市民バス自動車借上料として石蓮寺線を上げさせていただいております。

債務負担行為期間につきましては、広域路線バス、市民バスの運行業務委託料につきましては令和4年度から令和6年度までの3年間、それから市民バス自動車借上料につきましては令和4年度から令和9年度までの6年間でございます。こちらは、年度の途中からということになりますので、足かけ6年で実質は5年間ということでございます。限度額につきましては、広域路線バスは3年間で5,754万9,000円、赤磐市民バスは3年間で7,913万1,000円、市民バス自動車借上料は363万円でございます。

続きまして、補正予算でございます。

予算書は14ページから15ページ、説明資料は2ページから3ページでございます。

予算書でございますが、一番上の段、16款国庫支出金、2項国庫補助金、総務費国庫補助金でございます。こちら提案説明のとおりでございます。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額でございます。それぞれの事業に対して充当させていただいております。金額といたしましては、3,773万5,000円でございます。補正前は2億2,040万円、補正後は2億5,813万5,000円でございます。

以上でございます。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） 補正予算について説明します。

総務部の分科会資料1ページを御覧いただければと思います。予算書は20ページから21ページ、説明資料は6ページから7ページとなります。

総務課では、歳出の一般管理費に庶務管理システムの改修委託料として275万円を計上しております。この庶務管理システムは、職員の出退勤や休暇、時間外勤務など、職員のサービスを管理するシステムでございまして、そのシステムの機能向上を図るため、システム改修をする委託料を計上させていただいております。

総務課からの補足説明は以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 引き続きまして、くらし安全課から補正予算についての説明をさせていただきます。

同じく総務部資料の1ページを御覧ください。予算書は20、21ページ、説明書は6、7ページでございます。

2款総務費、1項総務管理費、5目財産管理費の投資及び出資金といたしまして、株式会社岡山シティエフエム出資金150万5,000円を計上させていただいております。コミュニティFMであります岡山シティエフエムの株式の取得に係る費用でございます。

資料の2ページ目以降につきましては、昨年度当委員会に御提出させていただきました資料を再度、一部修正を加えましてこのたびつけさせていただいております。

詳細な説明につきましては、本会議場で説明させていただいたとおりでございますが、資料5ページの辺り、6番のところを追記させていただいております。中継局を設置させていただいて、今市内全域でレディオモモの放送を聞くことができるようになっております。全国でも、このコミュニティFM放送の放送局につきましては、自治体が運営主体に出資するという形を取られているところが多くあります。岡山市が岡山シティエフエムにつきましては筆頭株主となっております。岡山市と連携を強化しながら、この株式会社岡山シティエフエム、レディオモモでございますが、赤磐市のコミュニティFMの放送局という位置づけで育成をして活用していきたいということで、同社に出資するということが必要であると考えております。

最後、資料の7ページに前回の委員会の際に御要望といたしますか、御意見のございました株主名簿を添付させていただいております。

説明は以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

○財務部長（作本直美君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 作本部長。

○財務部長（作本直美君） 財務部関連でございます。

財政課の歳入につきましては、本会議場で御説明をさせていただいたとおりで、特に補足説明はございません。

庁舎整備関係につきましては、管財課長より補足説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） それでは、管財課より補足説明をさせていただきます。

財務部資料の2ページをお願いします。

下のほうに、補足説明として資料をつけさせていただいております。

予算書につきましては、総務管理費の財産管理費で20ページ、21ページ、それから説明資料につきましては6ページ、7ページとなります。

まず、旧消防本部庁舎の改修工事です。

工事内容としましては、耐震補強を含む大規模改修となります。耐震補強と防水、外壁塗装など、外部改修、庁舎として活用するための内部改修、電気、衛生設備、給排水設備等の更新を行います。

次に、3ページをお願いします。

本庁舎の改修に当たり、市民の方の安全を考慮すると、一部の業務は庁舎内の工事区域外で行えるものの、どうしても仮執務室となるスペースが必要となります。必要な仮設庁舎を建設するとなると、リースとはいえ大きな費用が必要となります。事業費を抑えていくという観点から、仮設庁舎の建設ではなく、現在未活用の公共施設のスペースを活用していこうという計画でございます。今回の計画では、仮執務室施設として赤坂支所、熊山支所の活用を考えています。その赤坂支所、熊山支所のスペースを一部、未活用の部分を活用し、仮執務室として業務を行う計画としております。

また、山陽産業会館のイベントホールにつきましては、イベントホールを新型コロナウイルス感染症対策として分散勤務で執務室として活用できるよう改修する計画でございます。イベントホールを執務室として活用できるよう、ホールから会議室的な部屋へ改修します。作動音の大きい空調設備からエアコンに変更するとともに、維持費削減のため、エアコンの負荷を少しでも小さくできるよう、天井を設けて部屋の体積を減らす工夫をします。改修したイベントホールを、一時的に仮執務室として活用する計画でございます。

それから、③補正予算の内訳についてです。

公有財産管理事業としまして、新型コロナウイルス感染症対策としての分散勤務に関わる山陽産業会館の改修工事の事業費を計上しています。工事監理委託料として10万円、工事費として1,628万4,000円の合わせて1,638万4,000円を計上しています。庁舎等整備事業としまして、委託料の工事監理委託料としまして、旧消防本部庁舎改修工事監理が、前払い分として30%の125万4,000円、赤坂支所修繕工事の監理が36万円、同じく熊山支所修繕工事の監理が36万円の合わせて197万4,000円です。工事請負費としまして、旧消防本部庁舎改修工事が、前払い分として40%の8,000万円、赤坂支所修繕工事が1,657万9,000円、熊山支所修繕工事が1,345万4,000円の合わせて1億1,003万3,000円の計上をしています。

旧消防庁舎の改修に関わる事業費については、工事期間が令和4年度にわたることとなるため、本年度は前払い分の計上をしています。令和4年度予算で残りの事業費を計上することとなります。

管財課からの補足説明は以上です。財務部からは以上です。

- 分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。
- 消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。
- 分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。
- 消防総務課長（檜原秀幸君） 消防本部資料を御覧ください。

補正予算資料10ページから11ページ、説明資料24ページから25ページでございます。

議会にて総務部長が補足説明されたとおりですが、一言申し添えますと、コミュニティ助成事業で購入予定の防火、防災教育用ソフトは、裏面2ページに添付しております資料のDVDになります。また、新型コロナ蔓延防止対策で、感染症対応地方創生臨時交付金をお願いしております。消防庁舎の東・北出張所の仮眠室の環境改善工事は、現在の状況と改良後のイメージ写真を添付してございます。よろしく願いいたします。

以上でございます。

- 分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

これで終わりですね。

- 委員（大口浩志君） 休憩は。
- 分科会委員長（佐藤 武君） はい。
- 委員（大口浩志君） 説明は終わったんですね。
- 分科会委員長（佐藤 武君） 執行部の説明が終わりましたので。
- 委員（大口浩志君） 終わったんでしょう。その前に。
- 分科会委員長（佐藤 武君） これから質疑を受ける。

大口委員。

- 委員（大口浩志君） 暫時休憩を求めます。
- 分科会委員長（佐藤 武君） それじゃあ、暫時休憩します。

午後2時11分 休憩

午後2時17分 再開

○分科会委員長（佐藤 武君） 再開します。

先ほどくらし安全課のほうで説明いただきました部分で、資料の文章的な表現を若干訂正したいということですので、よろしくをお願いします。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 大変失礼いたしました。総務部資料の6ページ、これの字句の訂正をお願いいたします。

2としまして、防災強化とございます。そこの2行目の最後、「防災情報提供放送をより強く依頼できる」と、この表現が少し株主から圧力をかけ過ぎた表現になって誤解を生じてもいけませんので、「防災情報提供放送の充実を図るものとする」と訂正をお願いいたします。大変申し訳ございませんでした。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

説明が終わりましたので、これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

○委員（下山哲司君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 庁舎の設計、工事監理委託、もう設計業者は決まっとるんですか。

○管財課長（戸川邦彦君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） この庁舎の設計につきましては、さきのプロポーザルで業者選定をさせていただきましたADO建築設計事務所に決まっております。今回の予算における工事監理のほうの業者は決まっておりますが、この算出に基づく設計についてはADOになっております。

以上です。

○委員（下山哲司君） どこですか、それは。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 岡山市の業者になります。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） これは全部の監理じゃねえから、出張でこっちに事務所を置かれるんですか。

○管財課長（戸川邦彦君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 今、実施設計業務に関しましては、ADOさんは自社で、岡山からなので30分もあれば来られる範囲なので、毎週打合せは行っております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 代表者の名前は分かりませんか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） すいません。今手元に資料がないので分かりません。

○委員（下山哲司君） 名字も分からんのか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 確認してください。

○委員（下山哲司君） 毎週打合せをするような人の名前が分からんの。

○委員（大口浩志君） 相手をするのは担当者じゃ。

○分科会委員長（佐藤 武君） どなたか資料を確認に行ってください。

次に、何か。今確認に行っていますので、ほかに。

○委員（下山哲司君） いや、もうこれで結構です。

○分科会委員長（佐藤 武君） これだけで結構ですか。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 石原節夫さんになります。

○委員（下山哲司君） ありがとうございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） FMの件でちょっとお尋ねをします。

金額的には100万円ほどですけど、最初にアンテナが立って、ラジオがかかり出して、私自身もアンテナを立てなくても79キロヘルツはよく入るのでお聞きをしておりますが、そこでこの株主ということになり、1点ちょっと危惧したのが、こうやって出資になって、本会議場での説明でもございましたけど、重要な決定事項について参画できる、意見を述べることができるということになると、責任が伴うのが通常ではないかなと考えます。一番平たく言うと、形を変えた第三セクターみたいになったときに困るのではなからうかという危惧があるんですけど、後ろに示していただいたすごい株主さんがおられるんですけど、この株主のこと以降に、このシティエフエムさんとのお付き合いの仕方について、今後どのような御計画があるんでしょうか。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） お付き合いというのが、もちろん株主になりますので、株主総会に出席して、その内容については場合によって意見を言うというようなことになろうかと思えます。そのほかにつきましては、当然今防災に係る緊急割り込みの協定を結ばせていただいております。先般、8月の大雨の際にも、緊急割り込み放送をさせていただきました。

こういったことで、当然この資料にも書かせていただきましたけれども、コミュニティFMというのは、岡山市と共同ということにはなりますが、地域の、赤磐市の放送だという位置づけでもって、より赤磐市の地域づくりといえますか、そういった内容について放送時間、番組内容等増やしていただきたいと考えておりますので、株式を購入した暁には、よりそのことを強くお願いして、赤磐市民の皆様の役に立つ放送内容に充実させていただきたいということで、そういったお付き合いができればいいのではないかと考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 多分、商法上は株主責任は出資したお金がもし極端な話ですけど、なくなったらなくなったで終わりで済むんだと思うんですが、大体全国的な事例を鑑みるに、行政がかんどうやつは、民間企業はある意味あれなんですけど、道義的責任というやつがもしひっついてきた場合に、果たしてどうなんだろうかと危惧するんですけど、そういう心配はございませんというふうに答弁していただくとすごくありがたいんですが。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 心配がなくなるように、当然赤磐市としてもこのレディオモモのいわゆる聴視者を増やしていきたいと。これは、本会議場でも話をさせていただいたと思いますが、緊急告知ラジオを一般貸出しさせていただいております。これが昨年度と今年度で約280台貸出しをしておりますが、当然これ以外にも車にも通常ラジオはついておりますし、もともとお手元にラジオというのは持つておられると思いますので、赤磐市民の方が常にこのチャンネル、この周波数に合わせていただいて、放送を聞いていただくことによってそういった心配というのはなくなっていくんだろうと思いますので、そのことについて、市としても全面的に支援して、普及していきたいと考えております。

以上です。

○分科会副委員長（安藤利博君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 安藤副委員長。

○分科会副委員長（安藤利博君） 今のFMですけど、100株購入ということですけど、最後に株主名簿がついておりますけど、これは現在の株主さんから譲り受けるということでしょう

か。それとも、また新たに新株を発行するというのでしょうか。それで100株で150万円ですから、1株1万5,000円ということになりますか。

○くらし安全課長（岡本和典君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 現在赤磐市が100株購入させていただきますのは、この株主名簿の上から2行目にございます山陽新聞社が持たれております380株のうち、100株を山陽新聞社から購入ということで協議をさせていただいております。100株で150万5,000円の予算ということでございます。

○分科会副委員長（安藤利博君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 安藤副委員長。

○分科会副委員長（安藤利博君） 分かりました。

もう1点、3ページですけど、地域に密着した各種の情報云々で1週間の放送時間の50%以上を努力目標とされているみたいなんですけど、市長さんが出演されているという御説明がありましたけど、定期的に時間枠とかそういったのは現在取られているのでしょうか。それとも、適宜、何かあったときに市長さんが出演されるということでしょうか。

○くらし安全課長（岡本和典君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 定期的に第2、第4火曜日に番組を持っております。第1、第3金曜日にも定期の番組を持っております。このほかに、必要に応じまして別途番組を持たせていただく。これは、不定期のものになります。いわゆる赤磐市が番組を持つというものの以外に、レディオモモのほうから取材等の申出があったりとか、こちらからぜひこういう情報を市民に流してほしいということでお願いをして、情報提供をさせていただいているという状況でございます。

○分科会副委員長（安藤利博君） 分かりました。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

先ほどの事業報告の中で、庁舎の改修についての事業内容についていろいろ質疑があったんですけども、今回その金額的な予算を示されておりますけれども、これについての質疑はありませんか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 先ほどは、委員会のその他の中で議論がいっぱいされたと思うんですが、分科会で改めて市長のほうからまとめてもう一度言っていただいたほうがいいんじゃないかなと。じゃないと、委員長報告は出せないと思うんですよね。ぜひほかの議員さんにも理解

していただくためにも、ちょっとまとめていかれたほうがいいんじゃないですか。

○委員（下山哲司君） よろしいですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 総務委員会と分科会は関連したもんじゃから、総務委員会の中でしっかり協議して、皆さん御理解いただけたんで予算は無事に通りましたと言うて報告しときゃあ終わりじゃが。

○分科会委員長（佐藤 武君） いや、その他だけど、その他へ入れるかな。

○委員（大口浩志君） その他は委員長報告に入らんの。

○分科会委員長（佐藤 武君） 入らない。

○委員（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） もしかしたらこの数字の議案とは外れるかもしれないですけど、要するにベースとして本庁舎を耐震改修するという前段の、いわゆる関連予算というような位置づけなんですけど、先ほど同僚委員の質疑の中で、設計はADO建築設計さんがやとられるということだったんですが、執行部の説明ということではなくて、この建築設計事務所さんは、この設計をやって、この建物は何年保証していただけるんでしょうか。

○管財課長（戸川邦彦君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 今の庁舎の耐震を含む大規模改修の計画におきましては、今計画しているものは30年の計画でございます。30年後にも、当然適正な保全を行うことでまだ長く活用していけると考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 30年という言葉は、執行部のほうからの御説明でもそれぐらい使いたいんだという説明が過去にもあったと思いますけども、このADO建築設計さんのお名前でも文書をいただくことは可能でしょうか。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） もともとの基本計画に基づいて、プロポーザルで仕様書を作って発注をさせていただいております。当然それに基づいて設計が行われているものでございますので、今のこれから先30年の、適正な保全が当然必要にはなってくるんですけど、30年の活用ができるものとして設計しております。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） もちろんそうやってプロポーザルでやられているのは存じておりま

す。実際にプロ目線で細部の設計に入られていると思います。もらうのは無理なら無理で結構です。どちらか明確に、もらえるもんならもらっていただきたいし、それは無理ですということであれば、それは無理だとおっしゃっていただければ結構です。いかがでしょうか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） ここで、それなら30年間保証するとかという話には難しいと思います。ただ、その適正な保全の方法であるとかということに関しては、意見書をもらいながら、15年後にはこう30年後にはこうというような、大きなスパンでの事業計画としての建物を保全していく上でのちょっとした助言はいただけるかなと思います。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 何を言うてもらうか分からんようになってきた。

○委員（松田 勲君） 委員長が困らんのだったらいい。当然聞かれると思うんで。

○分科会委員長（佐藤 武君） いや、議論がなかったら聞かれないからね。

先ほどの事業概要の説明の中で、支所の在り方とかを含めて周辺公共施設の整備とかもいろいろ御指摘があったんですけれども。

いわゆる本庁舎の耐震改修に向けての仮執務室の整備ということですが、この事業を進めるに当たって、執行部としてどういう考え方で取り組んでいくか、そこら辺を改めて御発言いただけますでしょうか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 今回予算審査特別委員会の総務分科会で庁舎改修のことについて予算を上げさせていただいて、御審査いただいております。先ほどの総務委員会でも申し上げた繰り返しになる部分もありますが、御容赦いただいて、この庁舎については、やはりこの赤磐市の市民サービスを充実したものにして後世に伝えていくことが一番のコンセプトだと思っております。この有利な財源として合併特例債を活用しながら、なおかつ市民の皆様への将来を含めた負担をかけないようにということを命題に持ちながら検討を進めてきております。

そういう中で、この第一歩として設計が一部できておりますので、順番に工事のほうを発注させていただこうということで今回予算を上げさせていただいております。工事期間中は市民、それから市議会の皆様や職員に短い間ではありますが、御迷惑をおかけすることになるんですけれども、それを極力負担を少なく、そしてなるべく迅速にこの事業が完成しますように、順次コスト意識を持ちながら行っていきたいと思っております。

その第1弾として旧消防庁舎の改修と、仮設的ではありますが、赤坂と熊山支所の空いている部屋を活用しての執務スペースへの利用、そういったことを審査いただいたわけでございます。これからもこの執行に当たっては、コスト意識をしっかりと持ちながら、無駄な投資にならないようしっかりこれを執り行っていきたい。そういう思いで審査をお受けしていると

ころでございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

じゃあ、ほかに。

松田委員。

○委員（松田 勲君） 消防の関係で今回DVDソフトがございますけど、これは予算を見たら少年女性防火委員会の防災訓練用資機材となっておりますが、例えば町内会とかの防災活動とかそういったことにも貸していただけるものなんでしょうか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 地区で要望される広報等で活用したいと思っております。また、貸出し等の御要望があれば、そういった御要望にも対応させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ありがとうございます。

年末夜警とかでよくこういったDVDを探したりしているんです。図書館に借りたりもしているんですが、こういったことがあるんだったら、もっと広報していただいて、今現在たくさんほかにも貸出しができるDVDとかそういったものはあるんでしょうか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 大変古いものでよろしければお貸しできるものはございますが、今のところ充実したものはございません。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） できれば古いものじゃなくて、こういったDVDなんかそんなに高いものでも、買うとしたら高いんでしょうけど、ある程度こういったものを整備していただきたいのと、それとまた話が違うんですが、この前ちょっとお聞きして、東出張所と北出張の仮眠室の件で、写真がきれいに出ておりますが、これは基本的に前はお座敷というか、みんなでごろ寝の状態だったと思うんですが、今回は個室みたいな形になるんですか。それともこの1部屋を何人かで分けられるんでしょうか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 一人一人の個室を考えております。やはり感染防止の観点か

ら、きっちりとしたセパレーションが必要と考えております。よろしく願いいたします。

○委員（松田 勲君） 分かりました。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに。

○分科会副委員長（安藤利博君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 安藤委員。

○分科会副委員長（安藤利博君） 市庁舎の件ですけど、皆さんもう先刻御承知なんですけど、私は新参者で周回遅れなんで、2点確認させていただきたいんですけど、私も当初は耐震だけでいいという意見だったんですけど、ここの改修に当たっては最低限仮事務所が必要だということで、そちらの案に傾いているんです。あと、議員さんの中には、新築のほうがいいんじゃないかという議論をされている議員さんもおられます。

赤磐のこれだけ大きな事業ですから、できるだけ多くの方の賛成といいますか、コンセンサスを持って進めるべきだと思っています。その新設でちょっと確認させていただきたいのが、合併特例債を使ってやるということですけど、新築で60億円の合併特例債を使うと、まだ市でほかに合併特例債を使って行いたい事業があるのかなのか。これを使っちゃうと、私がお聞きしたのは60億円ぐらいが現在の残だとお聞きしているんですけど、ほかの事業には使えなくなるのではないかなということ。それが1点と、新築する場合には、今からまた……。

○委員（下山哲司君） これは、予算委員会よ。さっき言えばよかったのに。

○分科会副委員長（安藤利博君） あっ、そう。ごめんなさい。

○分科会委員長（佐藤 武君） さっきがよかったですわ。

○分科会副委員長（安藤利博君） またちょっとピントがずれとりました、すみません。

○分科会委員長（佐藤 武君） 特例債ね。

○分科会副委員長（安藤利博君） 特例債の期間中に完成できるのかなというのがちょっと疑問に思ったもんですから、この場ではないのかもしれませんが、もし御容赦いただければ教えていただければありがたいんですけど。駄目なんかな。

○分科会委員長（佐藤 武君） いや、いいです。副委員長からの御質問ですけど、さてこの耐震改修工事に向けての第1弾ということで、この事業が速やかに着手できることが大きな課題かなというふうに思いますけども、その点も併せて副委員長が聞かれたのかなと思いますけれども、その辺いかがでしょうか。

○委員（下山哲司君） 委員長、法的にやりよう分科会だから、余分なことはせずに出てきた予算だけやったほうがええかなと。また次に悪影響を及ぼすから、決まりどおりやっていただきたい。次の総務委員会でやればいいだけです。

○分科会委員長（佐藤 武君） じゃあ、次の委員会で。

○委員（下山哲司君） やるまでにいろんなまた案も考え方も聞けるし、そのほうがいいと思います。

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは。

○分科会副委員長（安藤利博君） また個別に教えていただきます。

○分科会委員長（佐藤 武君） 御指摘を尊重しまして、これで。

ほかに。

保田委員。

○委員（保田 守君） 前にも一遍言って確認ですけど、工事請負費と委託料合計が1億2,839万1,000円ということになつとるんですけど、これはこの庁舎の工事の概算である、工事の中へ全部含まれているということですよ。

○委員（松田 勲君） 事業費の中へ入つとるかどうかですね。

○委員（保田 守君） そうです。追加は要らないということですよ。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 今回計上しております事業費については、その事業費の中に含まれているものと考えております。

以上です。

○委員（保田 守君） 分かりました。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、ほかに質疑もないようですので、これで議第41号の質疑を終わります。

以上で当分科会の審査は全て終了しました。

なお、委員長報告については委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでした。

これで予算審査特別委員会総務分科会を閉会といたします。

大変お疲れさまでした。

午後2時47分 閉会